

BE KOBE

今後の不登校支援のあり方に関する検討委員会（第4回）

1

今後の不登校支援のあり方に関する検討委員会

BE KOBE

本日の検討事項

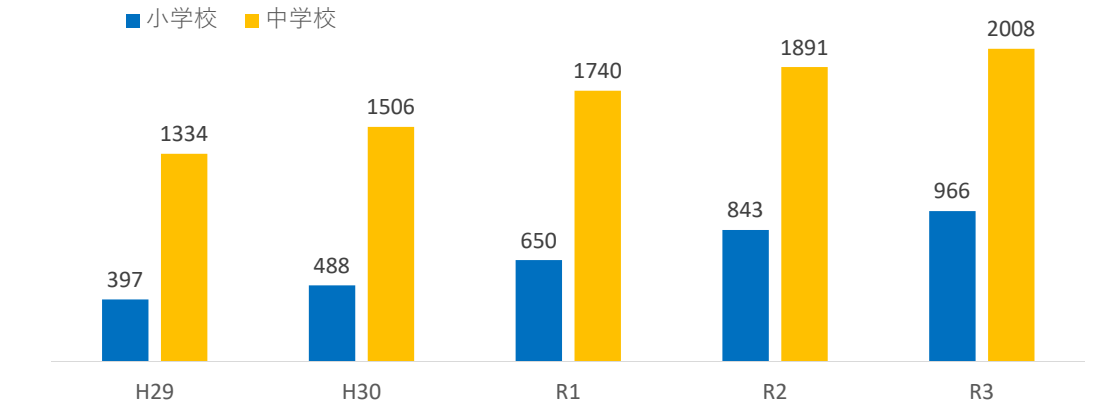
- ▶ **保護者サポート及び民間施設等との連携推進**
 - 不登校児童生徒の保護者向け支援の充実
 - 教育相談窓口を通じた支援
 - フリースクール等の民間施設との連携

2

神戸市における不登校の現状

BE KOBE

神戸市における不登校児童生徒数の推移



▶ 小学校・中学校ともに不登校児童生徒の増加傾向が継続している。

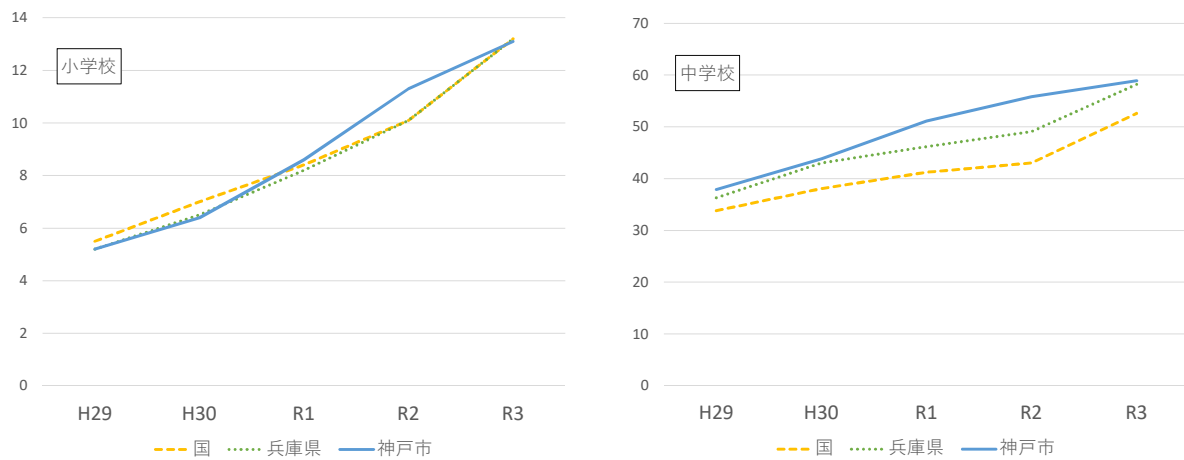
(令和3年度児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査より)

3

神戸市における不登校の現状

BE KOBE

1,000人当たりの不登校児童生徒数の推移



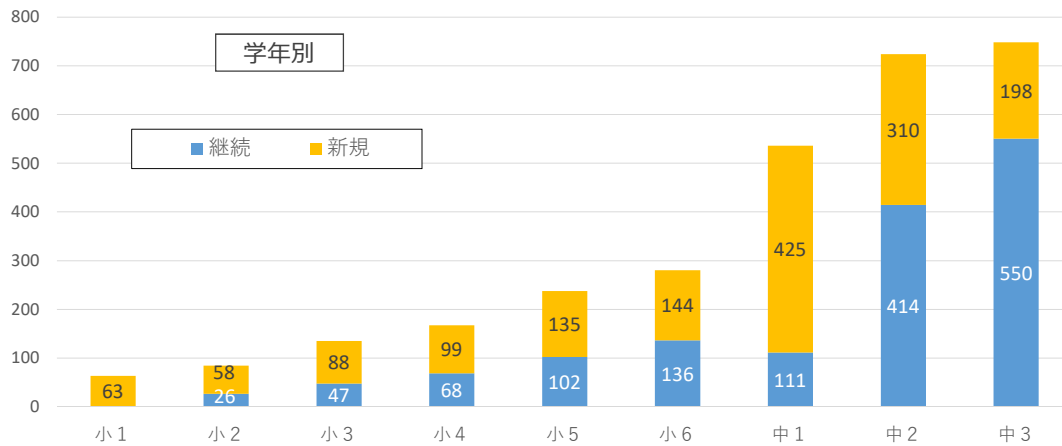
(令和3年度児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査より)

4

神戸市における不登校の現状

BE KOBE

令和3年度 学年別不登校児童生徒数（継続数・新規数）



(令和3年度児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査より)

5

不登校の主たる要因

BE KOBE

小学校

(令和3年度児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査より一部抜粋)

神戸市		全国(公立)	
①無気力・不安	46.5%	①無気力・不安	49.8%
②親子の関わり方	16.8%	②親子の関わり方	13.2%
③生活リズムの乱れ、あそび、非行	15.6%	③生活リズムの乱れ、あそび、非行	13.2%
④いじめを除く友人関係をめぐる問題	4.9%	④いじめを除く友人関係をめぐる問題	6.1%
⑤学業の不振	3.9%	⑤家庭の生活環境の急激な変化	3.2%

中学校

神戸市		全国(公立)	
①無気力・不安	46.1%	①無気力・不安	50.1%
②いじめを除く友人関係をめぐる問題	13.7%	②いじめを除く友人関係をめぐる問題	11.5%
③生活リズムの乱れ、あそび、非行	10.7%	③生活リズムの乱れ、あそび、非行	11.2%
④学業の不振	8.9%	④学業の不振	6.1%
⑤入学、転編入学、進級時の不適応	5.7%	⑤親子の関わり方	5.4%

▶ 不登校の要因は小中学校ともに全国と同様の傾向となっている。

6

不登校児童生徒の保護者向け支援

BE KOBE

▶ くすのき教室による保護者支援

- 学期末保護者懇談会（1、2学期末）・・・希望者に三者面談、二者面談
- 進路保護者会（定時制・多部制・通信制高等学校が参加し、進路情報提供）
 - R4 参加者数 60名（保護者45名、児童生徒15名） ※終了後、各分室ごとに懇談会を実施
- スクールカウンセラー・スーパーバイザー（SV）による保護者面談
- 保護者向け講演会
 - R元 演 題：「子どもの変化に向けて～進学・進級への準備とは～」
 - 講 師：神戸市スクールカウンセラー・スーパーバイザー 井上 序子 先生
 - 参加者：36名（申し込みは45名）
 - R2・R3 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止
 - R4 期 日：「演題未定」
 - 講 師：神戸市スクールカウンセラー・スーパーバイザー 井上 序子 先生

7

不登校児童生徒の保護者向け支援

BE KOBE

▶ 教育相談指導室による保護者支援

<R4 教育相談指導室 保護者向け講演会>

- 日 時：令和4年6月7日（火）10:00~11:45
- 場 所：神戸市総合教育センター 10階 ホール
- 演 題：「不登校の子どもの親としてできること・しなくてよいこと」
- 講 師：神戸大学大学院 人間発達環境学研究科 教授 吉田 圭吾 氏
- 参加者：**336名** ※参加者のうち、希望者には最大15名まで面接対応

例年3回開催し、
教育相談指導室での面談も実施
<実施テーマ>
① 不登校
② 子育て
③ 子どもの発達

保護者等の講演会に対するニーズが高い。

8

教育相談窓口を通じた支援

BE KOBE

▶ 青少年育成センター

- 内 容 不登校、学業・進路、いじめなどの子供に関する様々な問題や悩みの相談に対応。
- 場 所 青少年育成センター及び各教育相談所
- 対 応 者 主任指導員（退職校長）、育成センター所属担当係長・指導主事
- 方 法 電話、面接、訪問
 （R3実績 面接5,569件、電話2,812件、訪問923件）※のべ件数
- 項 目 別 不登校（95.3%）、学業・進路（2.2%）、その他（2.5%）
 ※「くすのき教室」入級児童生徒の継続相談を含む。

9

教育相談窓口を通じた支援

BE KOBE

▶ 教育相談指導室

- 内 容 いじめ、不登校、子育て、虐待等、様々な内容についての総合教育相談窓口
- 場 所 総合教育センター 3階
- 対 応 者 相談員（公認心理師・臨床心理士等の資格を持つカウンセラー）
- 方 法 電話、面接（R3実績 面接1,360件、電話803件）
- 項 目 別 面接相談 不登校76.1%、家庭・子育て8.8%、発達障害等7.3%、その他7.8%
 ※面接相談割合は全ケース数に対する割合（全ケース数：138）
- 電話相談 不登校24.7%、家庭・子育て13.9%、学校・教職員との関係18.9%
 いじめ11.2%、進路・学習8.0%、心身の健康・保健6.0%
 友人関係5.1%、その他12.2%

10

教育相談窓口を通じた支援

BE KOBE

▶ 特別支援教育相談センター（旧：こうべ学びの支援センター）

- 内 容 発達に関する各種相談窓口、R4～保護者等からの直接相談にも対応
- 場 所 総合教育センター 5 階
- 対 応 者 指導主事、専門相談員（心理士）、教育相談員（通級指導教室担当者）、
医療教育相談員（児童精神科医等）
- 方 法 学校訪問による巡回指導、来所相談（検査・面談）、電話相談
- 項 目 別 （R3実績）学校・保護者1,768件 ※新センター立ち上げのため、R3は12月末まで

うち、○検査・巡回指導申込	469件…発達検査や学校への巡回指導の申し込み
○巡回相談	772件…相談員が学校を巡回し状況を把握、助言等を実施
○実態把握	360件…面談を通じた児童生徒の実態把握
○結果説明	366件…面談を行い、発達検査の結果等を説明
○医療教育相談	155件…希望者には医師等の面談を通じて医療的な助言等を実施

11

フリースクール等の民間施設との連携

BE KOBE

▶ 指導要録上の出席取扱い（不登校児童生徒）

1 フリースクール等の民間施設への通所日数を出席取扱いした件数

令和3年度：129件（33施設） 令和2年度：120件（32施設）

※本市では、児童生徒の個別の活動状況を確認し、教育委員会と学校が協議の上、出席取扱いを決定。

2 自宅においてICT等を活用した学習活動を行った日数を出席取扱いした件数

①民間業者が提供するICT教材を活用した学習活動

②在籍校が提供するICT等を活用した学習活動（オンライン授業等）

※ただし、「対面指導」「学習記録」等の要件あり。教育委員会と学校が協議の上、出席取扱いを決定。

令和3年度：15件 令和2年度：6件

12

▶ R4 教育機会を提供している民間の団体等連絡会

日 時：令和4年10月13日（木）15:30~17:00

場 所：神戸市総合教育センター 6階 601号室

内 容：各民間の団体等の取組や児童生徒の活動について情報共有等

参加者：フリースクール等民間団体 24名（24団体）※R3：15名（15団体）

関係機関 3名 {
・ひきこもり支援室
・青少年育成センター
・教育相談指導室

学校関係者、事務局 23名

合計50名